



第1948回 例会

2014-15年度RI会長: Gary C.K.Huang
 第2640地区ガバナー: 辻 秀和
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 谷中 順次郎
 幹事: 岡本 博
 会報: 稗田 智則



VOL41 No. 13

2014年 10月1日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 谷中 順次郎 会長

唱歌

”君が代” ”四つのテスト”
 野村憲司君



ゲスト

タイ国チェンライロータリークラブ
 直前会長 原田義之 様

ビジター

田辺はまゆうRC 藤堂俊隆 様

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
44名	1名	10名	76.74%
9月17日修正出席率 93.18%			

ニコニコ箱

(敬称略)

◇お久しぶりです。とうとう古希を迎え、高齢者の部に入ってしまった。左目回復の見込みなく、辛く 不便な毎日です。今後とも、宜しく願い申し上げます。 田辺はまゆうRC 藤堂俊隆 様

◇タイ国 チェンライ ロータリークラブ
 直前会長 原田義之様 をお迎えして。
 後藤 信博、本田 耕二、木村 壽一、小山 實、
 前田 吉彦、丸山 博之、森本 修至、野村 憲司、
 岡本 博、坂本 正人、竹村 英一、谷中 順次郎、
 上原 俊宏、早稲田 清司、渡口 眞二、山本 亘、
 安井 忠雄、吉本 正美

◇今月14日、米山奨学生を迎えての合同例会がハナヨであります。出席よろしくお願ひします。
 佐田 一三

◇先週、沖縄の慶良間諸島に4日間行ってきました。
 沢山の海ガメと会って来ました。 北村 圭司

◇結婚記念日
 愛須 勝章、橋本 隆、畑地 誠、武田 静也

◇本人誕生日
 畔田 実、吉田 和枝

◇奥様誕生日
 愛須 勝章、栗山 侑三、丸山 博之、武田 静也

◇お花頂きます
 玉置 和男

会長報告

■本日のお客様はタイ国チェンライロータリークラブ直前会長 原田義之様をお迎えしています。日本各地のロータリークラブで講演等でご活躍されています。後ほど宜しくお願ひ致します。

■9月27日(土)、ホテルサンルート関西に於いて「クラブ米山記念奨学委員長会議および世話クラブカウンセラー研修会」が開催されました。クラブ米山委員長の佐田一三君と委員の玉置和男君、地区委員の坂本正人君の3名に出席していただきました。ご苦労様でした。

■9月27日(土)、ホテルグランヴィア和歌山に於いて「クラブ意見交換会」が開催されました。幹事の岡本君と武田静也君に出席していただきました。ご苦労様でした。

幹事報告

■例会日時変更

◎新宮RC

10月15日(水) → 休会

◎和歌山中RC

10月 3日(金) → 10月 3日(金) 19:00~

場所: ルミエール華月殿

<クラブフォーラム: 職業奉仕委員会>

10月24日(金) → 10月22日(水) 18:30~

場所: ルミエール華月殿

<和歌山東南RCとの合同例会>

◎和歌山南RC

10月10日(金) → 休会

◎高野山RC

10月3日(金)→10月3日(金)19:00～
場所：高野山大師堂線香工場

<移動例会：職場見学>

10月17日(金)→10月17日(金)

<「ロータリー100年の森林」除草作業>

■メーキャップ

◎9月27日(土)「クラブ米山記念奨学委員長会議および
世話クラブカウンセラー研修会」

佐田君、坂本君、玉置君

◎9月27日(土)「クラブ意見交換会」 岡本君、武田君

■回覧

◎週報「田辺RC」

◎「JCニュース9月号」

◎ロータリーニュースより

「ポリオ撲滅を目指して行動しよう」

◎ガバナー事務所より

「御礼」「ガバナー月信」

「『ロータリーの友10月号』地区だより」

◎「合同例会および米山奨学生歓迎会のご案内」

日時：10月14日(火)午後6時30分～

場所：ガーデンホテルハナヨ

◎「麻薬覚醒剤乱用防止運動街頭キャンペーンのご案内」

日時：10月25日(土)午後4時～5時

集合場所：Aコープみなべ店前

■連絡

◎ロータリーの友10月号が届いています。各自トレーに入れてあります。

委員会報告

◎社会奉仕委員会

委員長 武田静也君

10月4日(土)弁慶祭りです。闘鶏神社で餅まきをします。午前11時から始まりますので、10時～10時半までにお集まりください。ご協力お願いします。



◎親睦委員会

委員長 吉本正美君

10月4日(土)午後6時半～ 栗山会員の別宅をお借りして「家族親睦会花火を見る会」をします。ご家族様と一緒に参加よろしくお願ひいたします。



プログラム

タイ国

チェンライ ロータリークラブ

直前会長 原田義之様



講演テーマ

「輝く瞳に会いに行こう」

1. 3足のわらじで「タイ北部の子供たち支援」

私は北タイ・チェンライ R I 3360 地区チェンライ RC 直前会長職、現地ダムロン高校のボランティア日本語教師、そしてミャンマー国境近くワヴィ村のアカ族子供寮「夢の家」子供たちに就学&識字率向上支援を「国際奉仕を行動」でし続けて6年目です。その体験談を基に講演をさせていただきます。

今から21年前はロータリー入会5年目の所属ロータリークラブ W C S 委員長でした。バンコク出張中の折にホテルのテレビで、バンコクの奉仕団体が北タイ・チェンライの小学校の子供達へ図書寄贈の風景を見たのです。その映像を見た私は脳裏に越後長岡藩「米百俵」の話が過ぎると同時に、「そうだ、北タイ子供たちへの図書寄贈を」と考えました。

何故なら当時私が所属するクラブの W C S 主要事業は、地元国際協会に10万円を届けることでした。私はこの10万円をタイで図書を買ひ、北タイ子供たちに届けたら、50万円相当の図書を子供たちに届けられると考えたのです。子供は貧乏でも、裸足でも構わない。輝く瞳から科学を、世界を、知識を身に着け、立派な青年になって欲しいとの私の思いから、早速北タイ・チェンライに飛びました。以来15年間36小学校に図書配布を行いました。

2. 配本15周年図書支援会場でアカ族青年アリヤ氏との出会い

奉仕を続けて15年目に山岳民族学校へ特別配本を行いました。会場でアカ族青年・アリヤさんに15年振りに会いました。彼とは以前日本語通訳として出会いました。彼は私に会うなり涙ながらに「少数民族が抱える問題点」を語り「アカ族子供たちを助けて欲しい」と申し出たのです。

彼は子供たちが無識字のまま成長すれば、やがて麻薬の運び屋、売春、エイズキャリアの<悪の予備軍>になる現実を話してくれました。アカ族の子はアカ語のみ使い、学ばなければ「母国語・タイ語の無識字」のまま大人になり、マイノリティーから悪の道に身を染める子が後を絶たないのです。私は彼に「アカ族子供たちのために識字向上支援」を誓いました。

3. 豊田武雄氏の出会いが64歳の私に一大決心を

私は同じチェンライで北タイ山岳民族支援をしていた豊田武雄さんに21年前に出会いました。彼は私に「貧困に向かい合い子供たちの目線に合わせた時、子供たちは奉仕の玉手箱を開けます。その輝きは、その奉仕をした者にぎり見えない輝きです」と話してくれた。

64歳の私は現職を引き、彼の言葉を信じ「奉仕の心を、奉仕を行動で」に舵を取りました。ボランティア日本語教師の資格に挑戦、夜はタイ語教室に通いアカ族子供寮「夢の家」最前線の町・チェンライの国立ダムロン高校でボランティア日本語教師をし、その傍ら子供たちに「識字率向上支援」を始めたのです。

学校からの報酬を一切絶ち「奉仕の人生」に転向し「奉仕を行動で」と「無欲の奉仕」を実践して6年になります。たった一度の人生に「契約社会の人生」と「奉仕の人生」の「二味人生」に生きる「幸せな生き方」を選択したのです。



4. 麻薬、売春、エイズから救うために「識字向上」奉仕活動の始動

アカ族の歴史的背景が、彼ら民族にマイノリティーの影を落とします。私はアカ族子供寮「夢の家」の子供たちの母親識字率を調査し、アカ族母親識字率56%が判明したのです。低識字率国の課題は婦人の出生数は5人を超え人口問題、食料問題を引き起こしています。世界には多くの低識字率国があります。

タイ国内でありながらアカ族成婦人の識字率56%の問題は人口問題に加え麻薬、売春、エイズキャリア等の「悪の予備軍」を進行させています。なぜならここは歴史上、そして地勢上麻薬取引地帯で有名な「ゴールデン・トライアングル地帯」だからです。

アカ族子の供達を「悪の予備軍」から救う唯一の近道は、地道だが「子供たちに就学と識字向上支援」をすることと私は信じます。この輝く瞳の子たちを麻薬、売春、エイズキャリアの「悪の予備軍」にしてはならない。その思い一途に今日までの6年間を支援し続けてきました。そしてこれからも。

5. 私の生涯奉仕の原点とその先は

私の奉仕は終わりなく続きます。私の目の前のアカ族子供たちの就学・識字向上に、私にとって使命がある限り「生涯現役」で、「生涯ロータリアン」として「行動する国際奉仕」で北タイ子供たちの支援をし続けて参ります。



輝く瞳に 会いに行こう

66歳新米日本語教師の挑戦

原田義之 NPO法人タイ国学生
日本語教育環境支援プロジェクト



夜明け前に学校へ向かい、本が届くのを待つ少数民族の小学生。その子達が高校生になり、日本語学科で学ぶようになった。彼らの澄んだ瞳は喜びに満ち、今も輝き続けている――。

Contents
第一章 微笑みの国・タイとの出会い 第二章 初めの一步、「クバンヤー文庫」
第三章 夢手伝いの始まり、始まり 第四章 子供達に文字を、言葉を

定価(本体1300円+税) ISBN978-4-7790-0676-0

タイ北部の子供達との絆を描く、感動の記録

幻冬舎ルネッサンス

